



美都



ヒマワリが咲き夏本番



昨日は海の日でした

海の日、7月の第3月曜日が対象となる国民の祝日の一つです。「国民の祝日に関する法律」では、この海の日を「海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う」という日と定めています。1996年に祝日として定められた当初は、海の日は7月20日でしたが、3連休にするために「ハッピーマンデー制度」が導入されたため、2003年以降の海の日、7月の第3月曜日となりました。今年は7月15日、月曜日が海の日でした。

海の日由来は、海の日が国民の祝日と定められる前にあった「海の日記念日」だそうです。この「海の日記念日」は、1876年に行われた東北地方巡幸（じゅんこう）のおり、明治天皇が軍艦ではなく燈台巡視船「明治丸」に乗船し、7月20日に無事到着したことに由来するそうです。

四方八方を海に囲まれた島国日本は、昔から海の恩恵を受けて、さまざまな文化が発展してきました。海の日は大いなる海の恵みにあらためて感謝し、これからも海とともに生きるために、海を大切にしようと誓う、他国には類を見ない日本ならではの祝日です。



海に開かれた御津

左のマークは、平成8年に541点の応募作品の中から選ばれた、当時、御津南部小学校4年生の石黒かほりさんの作品です。御津町をイメージする「光る海」MITOと書かれ、Oは魚の形で下に波、そして、Mの中に貝がえがかれています。これからの御津町の発展と未来に羽ばたく夢が、新鮮な感覚で表現されています。

2年生が先日、御津の海岸へ探検に行き、きれいな貝を拾ってきました。海の恵みに感謝です。

昔の御津の海の写真を紹介します。



御幸浜 平成13年頃

昭和14年 西方港



昭和4年 御馬港



昭和24年 御馬海岸



昭和24年 御馬海岸

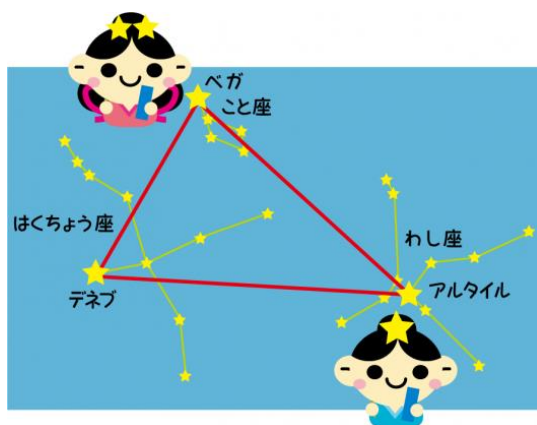
夏こそ星空観察を！



4年生がプラネタリウム見学へ行きます

星空観察にふさわしい時期になりました。星は空気が澄んだ冬がきれいだと言われますが、夏のにぎやかな星空こそ、星空観察に適していると校長先生は思います。まずは、「夏の大三角」を東の空で探してみましょう。はじめに探すのは、夏の夜空でひときわ輝く青白い星「**こと座のベガ**」。2つ目は、ベガの南東にあるやや黄味がかかった星「**わし座のアルタイル**」。最後に、アルタイルの東に位置する「**はくちょう座のデネブ**」を探し、3つを結ぶと細長い三角形になります。これが「夏の大三角」です。ベガは織姫（おりひめ）星、アルタイルは彦星（ひこぼし）と呼ばれ、2つの星の間には夏の天の川が流れています。

今度は南の空を見てみましょう。南の低いところには、Sの字のカーブを描くように星が並んだ**さそり座**が見つかります。目印は赤く光っている**サソリの心臓、アンタレス**です。さそり座の東側（左）には、いて座が見つかります。



星空観測というと、夜空がよく見える場所に行ったほうがいいと思うかもしれませんが、必ずしもそうする必要はありません。お家のベランダや窓から夜空を眺めるだけでも十分に楽しむことができます。月を観察すれば、月の満ち欠けに気がつきます。すると、どうしてお月様は毎日同じ形をしていないのか不思議に思うことでしょう。星を眺めれば、季節によって見える星が異なることに気づきますし、星座について興味をもつきっかけにもなります。流れ星に出会うことができたら願い事をしたくなるかもしれません。夏の夜空、星空観察をしてみてはどうでしょうか。

4年生が、明後日、プラネタリウム見学へ行きます。楽しみですね。

ご多用のなか、1学期末個別懇談会にご参会いただきありがとうございました。また、PTA資源回収にもご協力いただき感謝申し上げます。今年度、初開催の校内家庭科展にも足を運んでくださりありがとうございました。

2学期も、職員一同、南部小学校の子どもたちのためにがんばります。今後とも、よろしく願いいたします。



校内家庭科展を開催

